

## 小学校 第4学年 社会 ごみのしよりと利用 (東京書籍 新編 新しい社会4)




### ○単元の目標


知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解することができる。</li> <li>・ 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする。</li> <li>・ 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を高める。</li> </ul>

### ○探究の過程

①課題の設定	大崎市で排出されるごみの量を実感し、それがどのように処理されているか疑問を持つ。自分の出したごみが、ごみ置き場からなくなる様子を示し、だれが、どこへ、どのように運んでいるか興味・関心を持つ。
②情報の収集	ICTを活用し、友達の調べた情報を共有する。燃えるごみ、燃えないごみ、ごみ処理の問題、などの視点について、大崎市の様子を、市報、インターネット等を使って調べる。
③整理・分析	ステップチャートを使い、ごみがどのような順番で処理されているかを整理する。
④まとめ・表現	ごみを減らすために、自分たちができることを話し合い、考えた取組を発表し合う。

### ○単元計画 (10 時間扱い)

時	目標	学習活動	探究の過程
1	たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習課題を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習課題を立てる。</li> <li>【話し合いのテーマの例】</li> <li>* 家や学校、市（区町村）から出るゴミの量</li> <li>* ごみの種類や出し方</li> </ul>	① 
2	学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。</li> </ul>	
3	資料を活用し、クリーンセンター、リサイクルセンターがごみを処理したり、ごみを再利用したりする様子を調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画や資料から大崎市のごみの処理について調べる。</li> <li>【調べることの例】</li> <li>* 燃えるごみを処理する仕組み</li> <li>* 燃えないごみ、資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組み</li> </ul>	② 
4	資料で調べたことをまとめ、話し合い、学習を見直すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで調べてきたことをまとめ、更に調べたいことについて話し合う。</li> <li>【まとめることの例】</li> <li>* ごみ処理の仕組みや経路</li> <li>* ごみ処理に関わる人々の働き</li> <li>* 灰の処理に関する問題</li> </ul>	③ 

5	市（区町村）が行っているごみ処理問題の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市（区町村）がごみ処理問題を計画的に解決している様子を調査したり各種資料を活用したりして調べる。</li> <li>【調べることの例】</li> <li>*市（区町村）が現在のごみ処理問題を解決している様子</li> <li>*市（区町村）がこれまでのごみ処理問題を解決してきた様子</li> </ul>	
6	調べたことを基に、学習問題について話し合い、ごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題について話し合い、ごみを処理する事業の果たす役割について考える。</li> </ul>	
7 ・ 8	見学・調査したり資料で調べたりして、清掃工場が燃えるごみを処理する様子を調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃工場が燃えるごみを処理する様子を見学する。</li> <li>【調べることの例】</li> <li>*見学や各種資料を活用した調査</li> <li>*清掃工場が燃えるごみを処理する仕組み</li> <li>*清掃工場の仕事の工夫や苦労</li> </ul>	
9	調べたことを基に、学習問題について図や文にまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係などについて図や文にまとめる。</li> </ul>	
10	様々な立場からごみを減らすための呼び掛けをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちが協力できることは何かを考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な立場からごみを減らすための呼び掛けをしていることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちにできることは何かを考え、発表し合う。</li> <li>・他者の考えを聞いて、ごみを減らすために自分たちにできることについて更に考えたことをノートにまとめる。</li> <li>【考えたことの例】</li> <li>*ごみを減らす呼び掛け及びその理由</li> <li>*リサイクル法</li> <li>*世界のごみ処理の様子</li> <li>*ごみを減らすために自分たちが協力できること</li> </ul>	<span style="font-size: 2em;">④</span> 

第4学年 社会科学習指導案(第1時)


【①課題の設定 体験から疑問や関心を引き出しタイ】

1 単元名「ごみのしよりと利用」(東京書籍 新編 新しい社会4)

2 本時の計画

目標	たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習課題を立てることができる。
探究の過程 課題の設定	大崎市で排出されるごみの量を実感し、それがどのように処理されているか疑問を持つ。自分の出したごみが、ごみ置き場から無くなる様子を示し、だれが、どこへ、どのように運んでいるか興味・関心を持つ。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 15分	<p>○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応</p> <p>1 画像を見て課題や疑問を考える。 ○「これはなんでしょう」クイズが紹介されます。自分たち一人一人が生み出しているものが何か考えながら見ましょう。 ・どこにでもあります。 ・増えると困ります。 ・3つに仲間分けされます。 ・特別なトラックに乗ります。 ・月曜日と木曜日によく見ます。 ・1人1日1kg出します。</p> <p>2 自分たちが出したごみの処理のされ方について予想する。</p>	一斉          個別	<p>◎Power Point で問題を示す。 ◎曜日によって集められるものが違うことや、収集車によって運ばれていることを想起させる。 ◎大崎市全体で出る量が教室 643 杯分になることを伝え、ごみが増えると困ることを実感させる。 ◎「曜日」「種類ごとに違う日に集める」など、収集の工夫が分かるような提示にする。</p> <p style="text-align: right;"><b>課題の設定</b> </p>
<p>私たちが出したごみは、誰が、どのようにして、処理をしているのだろうか。</p>			
	<p>○自分たちが出したごみは誰が、どのようにして処理をしているか書き出しましょう。 ◆ごみ処理会社の人処理している。 ◆市役所の人処理している。 ◆ごみ処理場に持って行く。 ◆燃やしている。</p>		<p>◎Jamboardに「だれが」「どこへ」「どのように」運ぶかを書かせ、予想を共有させる。 ◎出てきた意見を全員で共有し、ごみを集める車やごみを捨てる場所(燃やすところ)など共通の言葉をまとめ、学級の予想を作る。</p>
展開 25分	<p>3 予想を確かめる方法を考える。 ○それぞれの予想を確認しましょう。 ◆集めに来ている人に聞く。 ◆大崎市のホームページを見る。 ◆家に貼っているごみの捨て方のポスターを見る。</p> <p>4 ごみについて、出てきた疑問や分からないことを話し合う。 ○疑問について話し合しましょう。 ◆曜日によって捨てられるごみの違い。 ◆燃やせるごみと燃やせないごみの違い。</p>	グループ       グループ	<p>◎学級の予想を調べるための方法を考え、Jamboard(黒板)で共有させる。</p> <p>◎次のような言葉に注目できるように指導する。 ・清掃工場におけるごみや灰の処理 ・リサイクル方法</p>
終結 5分	<p>5 分かったことをまとめ、次時以降に知りたいことを考える。 ○次時以降に知りたいことは何ですか。 ◆話し合っても分からなかったこと。</p>	一斉	<p>◎話し合っても分からなかった疑問なども含めて次時につながるようにする。</p>



第4学年 社会科学習指導案(第3時)  
 【②情報の収集 情報の集め方を考えさせたい】

1 単元名「ごみのしよりと利用」(東京書籍 新編 新しい社会4)

2 本時の計画

目標	資料を活用し、クリーンセンター、リサイクルセンターがごみを処理したり、ごみを再利用したりする様子を調べることができる。
探究の過程 情報の収集	I C Tを活用し、友達の調べた情報を共有する。燃えるごみ、燃えないごみ、ごみ処理の問題などの視点について、大崎市の様子を、市報、インターネット等を使って調べる。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 10分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 「ごみの捨て方クイズ」を通じて、大崎市のごみの出し方・分け方に興味をもつ。 ○「ごみの捨て方クイズ」をします。  2 クイズの答えを確かめる方法を考える。 ○クイズの答えを確かめましょう。 ◆市役所に聞く。 ◆清掃工場のホームページを見る。	グループ   一斉	◎身近なものの捨て方に興味を持たせ、分別していること気付かせる。  ◎児童から出てこない場合は、クイズの答え合わせのため、「分別早見表」があることを示す。
ごみを分けて捨てる理由や、分けた後のごみのゆくえを調べよう。			
展開 25分	3 「分け方と出し方」を読み、グループごとに、大崎市のごみの捨て方について調べる。 ○大崎市のごみの捨て方を調べましょう。  4 調べて分かったことについて発表する。 ○調べて分かったことを発表しましょう。 ◆ごみの種類は分けられている。 ◆ごみの出し方にも決まりがある。  5 動画を見て、ごみの分別やその後の処理の仕方を知る。 ○ごみ処理に関する動画を見ましょう。	個別   グループ   一斉	◎「分け方と出し方」を整理させる。  ◎大崎市では大きく「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」に分け、それらを曜日・地区別に回収していることをつかませる。 ◎「資源ごみ」について説明し、グループごと「大崎市のごみの捨て方のルール」をまとめさせる。 <b>情報の収集</b>   ◎燃えるごみの処理の仕方とそれ以外のごみの処理の仕方が分かれていることを確認した上で動画を見せる。 <b>情報の収集</b> 
終結 10分	6 調べたことや動画から分かったことをまとめ、発表する。 ○分かったことをまとめましょう。 ◆ごみの捨て方には細かいルールがある。 ◆ごみ処理場の中でも更に細かく分かれて処理されている。 ◆人が手作業でガラスを分けていた。分別は大事だと思う。	個別 ↓ 一斉	◎次時には「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」それぞれの処理の仕方についてステップチャートにまとめる活動があるので、本時ではごみが3つに分別されていること、それぞれに細かいルールがあることを押さえる程度にする。

第4学年 社会科学習指導案(第4時)  
【③情報の整理・分析 情報を整理させタイ】

1 単元名「ごみのしよりと利用」(東京書籍 新編 新しい社会4)

2 本時の計画

目標	資料で調べたことをまとめ、話し合い、学習を見直すことができる。
探究の過程 整理・分析	ステップチャートを使い、ごみがどのような順番で処理されているかを整理する。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 10分	<p>○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応</p> <p>1 大崎市の最終処分場7つのうち5つがいっぱいであることを知り、このままでは、ごみを捨て続けられなくなることに気付く。</p> <p>○大崎市の燃やせないごみや、燃やした後の灰を捨てる場所はもういっぱいになっています。これから出るごみはどうすると思いますか。</p> <p>◆埋める。 ◆別の市に持って行く。</p>	一斉	<p>◎前時までの学習では、燃やした後の灰や燃やせないごみについては、まだ学んでいないことを確認する。</p> <p>◎7つある最終処分場のうち、5つがすでにごみでいっぱいになっていることを示す。</p>
捨てられたごみのゆくえをまとめよう。			
展開 25分	<p>2 大崎市のごみ処理の仕方の動画を見る。</p> <p>○ごみの処理の仕方をまとめましょう。</p> <p>3 ごみの捨てられ方をまとめる。</p> <p>○ステップチャートにまとめましょう。 例「燃やせるごみのステップチャート」</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[ごみ収集車] --&gt; B[ ]     B --&gt; C[ ]     C --&gt; D[クリーンセンター]             </pre> </div> <p>4 ステップチャートにまとめたものを見て、分かったことを発表する。</p> <p>○大崎市のごみは最後にどこに行きますか。</p> <p>◆クリーンセンター。 ◆リサイクルセンター。</p>	一斉  個別	<p>◎見せる前に、3つのごみの種類ごとに処理の仕方をまとめることを伝える。</p> <p>◎「燃えるごみ」「燃えないごみ」「資源ごみ」に分けて、ステップチャートにまとめる。</p> <p>◎Jamboardを活用して、個別でまとめた後、自分の答えを友達と確認をする。最後に学級で確認をする。</p> <p>◎答えが拡散しないように、「ごみ収集車」から始め、「クリーンセンター」で終わること示しておく。</p>
整理・分析			
終結 10分	<p>5 ごみ処理について予想する。</p> <p>○ごみ処理施設を一杯にしないためにどんなことをしていると思いますか。</p> <p>◆燃やせないものは埋める。 ◆なるべく細かくする。 ◆完全に燃やして形を残さない。</p>	一斉	<p>◎燃やせないものや、燃やして後に出てしまう灰について考えさせることで、次の学習につなげるようにする。</p>

第4学年 社会科学習指導案(第9時)  
【④まとめ・表現 次の課題を見付けさせたい】

1 単元名「ごみのしよりと利用」(東京書籍 新編 新しい社会4)

2 本時の計画

目標	様々な立場からごみを減らすための呼び掛けをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちが協力できることは何かを考えることができる。
探究の過程 まとめ・表現	ごみを減らすために、自分たちができることを話し合い、考えた取組を発表し合う。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 10分	<p>○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応</p> <p>1 学習課題を振り返る。 ○大崎市のごみについて学んだことを振り返りましょう。 ◆大崎市のごみは大きく3つに分けて処理されている。 ◆見学では働く人の話を聞くことができた。</p>	一斉	<p>◎Jamboardにまとめたものや見学などを振り返るようにする。 ・ごみ捨て場から運ばれて最後はクリーンセンターに行くこと ・ごみは大きく3種類に分別されて捨てられていること</p>
これまでの学習を振り返り、まとめをしよう。			
展開 15分	<p>2 ごみを減らすために何が必要か考え、自分ができることを考える。 ○ごみを減らすためにできることは何ですか。 ◆ごみは正しく分別する。 ◆大崎市の3切り運動に協力したい。 ◆リサイクルされたものを使うようにする。</p> <p>3 ごみ削減の工夫について話し合う。 ○ごみを減らすためにできることをグループで話し合ひましょう。 ◆学級で出るごみを分別し、なんでも大切に使うようにする。</p>	個別  グループ	<p>◎自分ができることを考えるときには、学んだことを生かしたり、踏まえたりするようにさせる。</p> <p>◎自分の考えが「家庭」「学校」「店」「地域」のどの取組に協力することになるかを考える。 ◎話し合うことが難しい場合は、教科書「自分にできることを話し合ってみよう」を参考に考えさせる。</p>
終結 20分	<p>4 ごみを減らすために自分のできることを発表する。 ○考えたことを発表しましょう。 ◆分別をすると、ごみを処理する人が楽になることを知った。 ◆ごみを減らすことがまずは大事だと思う。</p> <p>5 友達の発表を聞き、考えたことや分かったことをまとめる。 ○考えたことや分かったことをまとめましょう。 ◆友達も分別の大切さを言っていたので、改めて分別に気を付けたい。</p>	一斉  一斉	<p>◎なかなか発表ができない場合は、Jamboardに投稿し、自分の考えを学級に伝えるようにする。</p>

まとめ・表現



まとめ・表現

